

副籍交流 体験談

①「美術」～小平特別支援学校・田無第三中学校～

針金と紙粘土を使って、深海魚を作成する美術の授業に参加しました。夏休みの宿題として事前に描いた深海魚の下書きを当日持参しました。

班の仲間と自己紹介しあった後、針金を曲げ、粘土をはりつけていく工程に挑戦し、班員と協力しあって作品づくりを進めました。持参したイラストの下書きを見せあい、次回の交流で色付けをする際の相談をして授業を終えました。

保護者の声：小学校入学前の地域のお友達と再会できてうれしそうでした。時間がかかる作業は事前に宿題として取り組んだり、難しい作業はクラスメイトや先生のサポートを受けながら進めることができました。複数回参加することで、クラスメイトたちと緊張せず交流できるようになってきました。



②「音楽会」～石神井特別支援学校・柳沢小学校～

音楽会で発表する英語版の「ドレミの歌」の合唱練習に参加しました。事前に楽譜を受け取り、練習してから参加しました。

英語の発音を繰り返し練習し、実際に舞台に並んでリハーサルをしました。教室から体育館への移動や舞台上の整列時など、自然に声を掛け合いながら楽しい時間を過ごすことができました。本番も一緒に舞台に立ちました。



保護者の声：石神井特別支援学校と放課後デイサービス以外の居場所ができました。1年生の頃から定期的に副籍交流で訪れているため、本人の口から「もう一つの僕の小学校だよ」という言葉が聞けてうれしく思います。また、災害時等、避難先になる建物なので、通っている子どもたちを知っておくことで安心して備えることができた点も心強く感じています。

③「音楽・休み時間」～石神井特別支援学校・碧山小学校～

色々な打楽器に触れる音楽の授業に参加しました。伴奏に合わせて、班ごとに楽器を演奏し、「お気に入りの楽器」を最後に発表しあいました。休み時間にはクラスメイトと体を動かして遊びました。ゲームをしたり、体を揺らしてダンスをして楽しみました。「今度はどんな授業に参加してみたい？」と先生やクラスメイトたちと相談し、次回を楽しみにしていました。

保護者の声：別の日に朝の会だけ参加することからスタートしていましたが、お互いに緊張せずスタートすることができました。同年代の子どもたちから刺激を受けて、普段とは違うことにチャレンジする姿が見られて成長を感じました。

